

掲載専攻

- スクールリーダーシップ開発専攻
- 教科教育専攻
- 教育学（国際教育）修士プログラム



筑波大学  
*University of Tsukuba*

# 教育研究科

## 修士課程



UNIVERSITY OF TSUKUBA  
GRADUATE SCHOOL GUIDE

### 研究科の教育目標

教育研究科は筑波大学における唯一の独立した修士課程研究科であり、師範学校から続く長い歴史と伝統、実績を持っている。スクールリーダーシップ開発専攻、教科教育専攻、及び教育学（国際教育）修士プログラムが連携し、学校教育、教科教育、及び国際教育に関する専門性の基礎を習得させることにより、グローバルな視野と教育実践力を併せ持ち、専修免許状と修士（教育学）の専門性を教育界において活かす高度専門職業人としての教員を育成する。

### 研究科の求める人材

学校教育の現代的な諸課題について、様々な学問を基盤にしながらか深く洞察し、様々な解決方法を自ら考えてその実践にリーダーシップを発揮しようとする人材を求める。

### 研究科の入学選抜方針

研究科入試委員会管轄のもと、専攻・プログラムあるいはコース毎に入学選抜を実施し合格候補者の原案を作成し、研究科運営委員会にて合否判定を行う。入学選抜の方法として、以下の4種類の入学試験を実施する。

- (1) 一般入試  
4年制大学を卒業した者を対象とする。筆記試験および口述試験（専攻によっては研究計画書）の結果に基づき、選抜を行う。
- (2) 社会人特別選抜  
社会人を対象とする。筆記試験、口述試験、書類審査の結果に基づき、選抜を行う。
- (3) 現職教員1年制プログラム  
修業年限1年で修士号取得を目指す現職教員を対象とする。筆記試験、口述試験、書類審査の結果に基づき、選抜を行う。（ただし、教科教育専攻保健体育教育コース及び教育学（国際教育）修士プログラムは実施せず。）
- (4) 英語による特別選抜  
外国人留学生等を対象とする。筆記試験、口述試験、書類審査の結果に基づき、選抜を行う。（教育学（国際教育）修士プログラムのみ実施する。）

## 1 スクールリーダーシップ開発専攻

### ■教育目標

学校教育における教育活動や組織・運営に関する総合的識見と高度の経営能力を有するマネジメント型リーダー及び学校における子どもの学習と生活に対する総合的な支援を企画・運営する高度専門職業人型のリーダーを養成するとともに、継続教育を実施する。

### ■カリキュラムの特色

教育学および心理学の2つの学問領域を中心として、各コースに対応する専門科目および共通科目から編成されている。大学卒業後ただちに大学院に進学する等、教職経験がない場合には、修士論文が課される。現職教員等で教職経験がある場合は、修士論文に代えて実践研究報告書を執筆できる。

中学校および高等学校の教諭一種免許状を有する場合、所定の単位を修得すれば、どの教科でも専修免許状を取得できる。

また、平成28年4月に小学校教諭専修免許状取得にかかわる課程が設定された。さらに、所定の単位を修得すれば、学校心理士（一般社団法人学校心理士認定運営機構）の申請資格も取得できる。

### ■各コースの概要

#### ・スクールリーダーコース

歴史的・哲学的な視野と識見をもって現代教育の諸課題を理解したうえで、学校が直面する様々な問題を冷静に分析し、行政的・制度的条件を踏まえつつ問題解決に向けて学校の組織・経営をリードすることのできる能力を育成する。

#### ・学習・生活支援コーディネータコース

学校・学級における児童生徒の学習活動と生活に関わる諸課題を、児童生徒の学習・生活に対する総合的支援という視野で捉えたうえで、各学校の課題に対応したカリキュラム開発や生徒指導・援助の改善方策を考え、その実践をリードすることのできる能力を育成する。

### ■求める人材

スクールリーダーコースでは、現職教員や教育行政に携わる者や広く教育分野で実践経験をもつ者をはじめ、学校改革に意欲的なマネジメント型リーダーを志す人材を求める。学習・生活支援コーディネータコースでは、学校教育における子どもの学習と生活に対する総合的な支援に強い使命感をもった専門職型リーダーを志す人材を求める。学部卒業から継続してテーマを追究したい者や、外国人留学生で研究生を経て基礎知識を備えた者も受け入れる。

### ■入学選抜方針

専攻の枠を超え、教育研究科として一体となった教育・研究を実施するため、研究科の入学選抜方針に準拠して選抜する。募集は専攻単位で実施する。

## 2 教科教育専攻

### ■教育目標

国語・社会科・数学・理科・英語・保健体育・芸術科の各教科教育コースにおいて、それぞれの教科を中心とした学校教育に関する深い教育的識見と高度な専門的能力及び実践的指導力を備え、主として中等教育の各教科教育の分野において指導的役割を果たすことができる高度専門職業人としての教員の養成を目的とする。

### ■カリキュラムの特色

教育課程は、共通科目とコース別科目から成っている。共通科目は、スクールリーダーシップ開発専攻の共通科目のなかから選択し、中等教育全般についての広い視野を修得できるようにしている。コース別科目は、各専門教科等に関する教科教育学と専門科学からなり、高度の専門的知識と実践的指導力が獲得できるようにしている。

### ■各コースの概要

#### ・国語教育コース～人間性豊かな教育者をめざして～



国語科教員として、総合的な教育見識と高度な専門的能力とを備え、主として中等教育において指導的役割を果たすことができる研究的実践者の養成を目的とする。国語科という教科の性格上、単に日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育学などの分野にとどまらず、広く言語教育を通して、生徒の人間形成の面においても優れた能力を持つ教員を育てたい。国語科教員の「守備範囲」というものは実に広い。教科書の教材だけに限ってみても、あらゆる内容のものが網羅されている。また、教科書教材以外での言語活動・コミュニケーション等を通して、随時、生徒に思考力・創造力・表現力等を養っていかねばならない。それらにこたえられるような、豊かな人間性と実力とを具備した人材を育てていきたい。

#### ・社会科教育コース～学問的背景を持った優れた教育者の育成～

社会科教育コースでは、高度な学問的背景を持った優れた高等学校教師の育成を目指している。昨今、全国の教育系大学に大学院が設置されつつあるが、高等学校の教員を養成しようとしている大学院は数えるほどしかない。その中にあって、本学大学院教育研究科の社会科教育コースは定員でも全国一の規模を誇り、毎年ほぼ20名以上の修了生を全国に送り込んでいる。高等学校の教師を目指す上で、自分の専門分野の学問を深めることはもちろん重要であるが、本コースではそれに加えて授業論を中心とする教育学的研究も重視している。修士論文ではかなり広範な問題を扱うことができ、社会科・地理歴史科・公民科のいずれの教科の内容にも対応できる態勢を有している。

#### ・数学教育コース～数学教育を担い先導する人材の育成～

新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要になり、しかもそれらは日々変化を遂げている。このような変化の激しい社会に生きる子ども達の教育に当たる人材の養成は、今日の教育界における最も重要な課題の一つである。数学教育コースではこのような社会的要請にこたえるべく、主として中・高等学校における数学教育において中心的役割を果たすに相応しい能力を養い、また数学教育学の実践的研究者を養成することを目指している。また近年では修了生が、学校教育以外の場においても活躍できるような素養を身につけるための教育も行っている。

#### ・理科教育コース～中等理科教育界のリーダー養成～

理科教育コースは中等教育段階でリーダーシップのとれる理科教師の育成を主たる目標としている。院生は、思春期の生徒の実態をふまえた科学教育の知的素養と科学各分野（物理、化学、生物、地学）の幅広くかつ専門的な知的素養の両者を統合的に修得しながら、中等教育段階の科学教育や科学各専門分野での課題をテーマに修士論文を作成し、教育学修士号および高校・中学校理科教員の専修免許を取得して、中等教育における中核的な人材になることを目指して巣立っている。

#### ・英語教育コース～言語研究と文化研究をふまえた英語教育のエキスパートに～

今日、地球規模の文化交流はますます活発化している。英語教育コースは、こうした時代の流れを傍観することなく、異文化間コミュニケーションを重視し、国際規模の人的交流を円滑にする「共通語としての英語」の習熟に、積極的に取り組むことを目指している。

そのアプローチとして、本コースは英語の知識・運用力の獲得を学問的に考察する英語教育学を柱にしなが、英米文学および英語学の分野においても優れた研究体制を擁している。この英語教育学・英米文学・英語学の3分野が、その独自性を保ちつつも学際的に協力し、英語教育の諸問題に取り組むのが本コースの特徴と言える。さらに、こうした国際的な広い視野を持つ優れた人材の育成を目指しながら、学校教育関係科目も重視している点で、他大学と異なる特色あるカリキュラムを持つと言える。

#### ・保健体育教育～自ら力量を磨く創造的人材の育成～

保健体育教育コースでは、保健体育教育を学校教育全体の中で捉える視野を身につけ、中・高等学校の保健体育教師として身に付けるべき実践的能力を、幅広い教育学的な素養とスポーツ科学の基礎的知識を踏まえて育成することを意図している。

そのため、保健体育教師の職業イメージを形成するとともに、保健体育の授業づくりに関わる基礎的知識と実践的能力を育成する科目群を配置している。また、附属の小・中・高校で行われる研究授業や教育実習に関わる実習を各学期に設定している。

#### ・芸術科教育コース～芸術教育の理論と実践を先導する専門家の養成～

本コースでは、新しい時代に対応する芸術教育の担い手として、高度な専門的能力と実践的能力を兼ね備えた人材の育成をめざしている。そのために教育全般に関する深い洞察力を身につけながら、一人一人の問題意識を高めている。また、芸術領域の専門的スキルを習得していく多彩なカリキュラムを有している。急速に変化する現代において、アカデミックな芸術の教養をふまえて、今日の新しいメディアや拡張する現代の芸術までを対象として、幅広く柔軟な視点から芸術教育の可能性を探究していくことを期待している。

### ■求める人材

主として中等教育の普遍的課題と現代のさまざまな教育実践の課題に真摯に向き合い、主体的かつ意欲的な課題探究型の人材を求める。入学前には教科教育の基本的な文献とともに、専門としようとしている教科内容分野の基礎的な文献を読み、自ら課題意識をもって入学してほしい。

### ■入学者選抜方針

専攻の枠を超え、教育研究科として一体となった教育・研究を実施するため、研究科の入学者選抜方針に準拠して選抜する。募集はコースごとに実施する。

## 3 教育学（国際教育）修士プログラム

### ■教育目標

国際教育に関する専門性の基礎を習得することによって、グローバルな視野と教育実践力を併せ持ち、修士（教育学）の専門性を教育界、並びにより広い社会において活かすことのできる高度専門職業人を育成する。本学位プログラムでは、教育における新しい理論と実践を理解し、国際教育に関する諸課題を研究する能力を修得することを通して、国際的視野をもった研究者を育成することを目的とする。

### ■カリキュラムの特色

授業科目は、専門基礎科目（必修）と専門科目（選択）に分かれる。専門基礎科目では、国際教育に関する基礎的な知識と研究方法について学ぶ。専門科目はプログラム設定科目と選択科目に分かれており、各自の研究テーマや資格取得（IB教員資格等）の目的に応じて必要な科目を履修する。1年次では主として専門基礎科目を履修し、教育研究の基礎力を身につける。2年次には、研究テーマにそった専門的な研究力を身につける。

所定の単位を修得し、一定の要件を満たす場合、IB教員資格（IB educator certificates:IBCTL、IBACTLR）を取得できる。

### ■求める人材

本学位プログラムでは、異なる価値観や多様性を尊重し、思考を深めることを志向する学生を求める。特に、教育における新しい理論と実践を主体的に追究し、国際教育の分野に貢献しようとする熱意を有する学生の入学を期待する。学部卒業から継続して研究を深めようとする者に加え、社会人（教職経験者等）、外国人留学生や海外在住日本人など多様な経歴をもつ者を受け入れる。

### ■入学者選抜方針

教育研究科として一体となった教育・研究を実施するため、研究科の入学者選抜方針に準拠して選抜する。募集はプログラム単位で実施する。

### 〈入試主要日程〉

専攻	実施時期	募集要項	入学願書受付	学力検査	合格発表
スクールリーダーシップ開発 (現職教員1年制プログラム含む)	2017年10月	6月下旬	2017/9/19(火)～ 2017/9/21(木)	2017/10/17(火) 2017/10/18(水)	2017/11/1(水)
教科教育 (現職教員1年制プログラム含む)	2017年10月	6月下旬	2017/9/19(火)～ 2017/9/21(木)	2017/10/17(火) 2017/10/18(水)	2017/11/1(水)
教育学(国際教育) 修士プログラム	2017年10月	5月下旬	9月中旬	2017/10/28(土)	11月中旬

1. 秋学期入学者に対する入学試験を実施する場合は、上記日程で行うものとする。

2. 入学定員の関係により、修士課程「第2次募集」を実施する場合は、2018年の2月期の日程「1/30～2/2」により行う。

〈教育研究科説明会〉 教育研究科説明会（2017年6月18日（日）に実施予定）及び入試日程等の詳細は、教育研究科ホームページ（<http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/>）まで。

〈募集要項〉 <http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/index.html>

### 〈過去問〉

専攻	閲覧	コピー	郵送	電話番号	URL
スクールリーダーシップ開発 教科教育 教育学(国際教育)修士プログラム	○	×	○	029-853-4604	<a href="http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/info/pamphlet">http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/info/pamphlet</a>

〈教員一覧〉 <http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/about/staff>

〈シラバス〉 <http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/curriculum/syllabus>

### 問い合わせ先

筑波大学大学院 修士課程 教育研究科事務室  
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 文科系修士B棟  
TEL 029-853-4604  
FAX 029-853-6695

### インターネット ホームページ

<http://www.kyouiku.tsukuba.ac.jp/>